



平成29年度 地域発 元気づくり支援金【北信地域】 33事業が内定しました。

「地域発元気づくり支援金交付要綱」に基づき、北信地域事業選定委員会による審査を経て、下記のとおり内定しました。

○当地域の要望状況は、34団体、37事業で、要望額合計8,070万6千円でした。

○内示額の合計については、当地域への配分額(予算額)5,996万2千円に達しました。

1 事業区分別の選定状況

(単位:千円)

| 事業区分 | 選 定 状 況 | | |
|--------------------------|---------|--------|--------------------------|
| | 件数 | 支援額 | 事業例 |
| 1 地域協働の推進 | 5 | 15,669 | 協働のむらづくり事業 |
| 2 保健、医療、福祉の充実 | 2 | 11,885 | 障がい者就労支援事業 |
| 3 教育、文化の振興 | 3 | 2,816 | 信州ゆかりの作家展、ふれあいわんぱく学校 |
| 4 安全・安心な地域づくり | 2 | 808 | 地域防災力向上事業 |
| 5 環境保全・景観形成 | 3 | 4,721 | 志賀高原森林再生事業 |
| 6 産業振興、雇用拡大 (小計) | 15 | 21,521 | |
| (1) 特色ある観光地づくり | 10 | 15,796 | サイクルツーリズム促進事業、カヤの平魅力発信事業 |
| (2) 農業の振興と農山村づくり | 2 | 1,824 | シャクヤクプロモーション、酒米ブランド化 |
| (3) 森林づくりと林業の振興 | 1 | 871 | カヤの平高原におけるブナの森づくり |
| (4) 商業の振興 | 1 | 630 | ハロウィンイベント |
| (5) その他 | 1 | 2,400 | |
| 7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業 | 0 | 0 | |
| 8 その他地域の元気を生み出す地域づくり | 3 | 2,542 | くるみによる地域づくり、移住体験ツアー |
| 合 計 | 33 | 59,962 | |

【再掲】県全域及び地域で重点的に推進するテーマに関する事業分

(単位:千円)

| 重点テーマ区分 | 件数 | 支援額 | 事業例 |
|--------------------------|----|--------|----------------------|
| しあわせ×2(buy)信州運動の推進 | 1 | 2,400 | 農産物の魅力発信・販売イベント |
| 人生二毛作社会の推進 | 0 | 0 | |
| 信州ACEプロジェクトの推進 | 0 | 0 | |
| 生活の足(地域交通)の確保・充実 | 0 | 0 | |
| 強みを活かした広域的な観光振興 | 4 | 11,121 | スキーエリア合同による誘客宣伝 |
| 地域資源の魅力向上 | 8 | 5,999 | シャクヤクプロモーション、酒米ブランド化 |
| 多様なライフスタイルに合わせた就業支援・産業創出 | 0 | 0 | |
| 歴史・文化の継承、移住・定住・交流人口の増加促進 | 4 | 3,423 | 地域実感型移住体験ツアー |
| 地域の医療・福祉・子育て環境の充実 | 2 | 11,885 | 障がい者就労支援事業 |
| 地域の防災力の向上 | 1 | 396 | 地域防災力向上事業 |
| 合 計 | 20 | 35,224 | |

2 申請者区分別の選定状況

(単位:千円)

| 申請者区分 | 件数 | 支援額 |
|---------------------|----|--------|
| 市町村 | 7 | 16,517 |
| 広域連合等 | 0 | 0 |
| 公共的団体(地域づくり団体・NPO等) | 26 | 43,445 |
| 合 計 | 33 | 59,962 |



長野県PRキャラクター「アルクマ」
(信州DCバージョン)©長野県アルクマ



世界級リゾートへ、
ようこそ。山の信州

信州デスティネーションキャンペーン
2017.7.1-9.30

しあわせ信州創造プラン(長野県総合5か年計画)推進中

北信地域振興局 企画振興課
担 当:(課長)小林真人 (担当)沖 美香
電 話: 0269-23-0201(直通)
FAX: 0269-23-0256
E-mail: hokuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

平成29年度「地域発 元気づくり支援金」【北信地域】 選定事業一覧表

| | 事業区分 | 事業名 | 事業主体 | 事業内容 (単位:千円) 主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業 | 総事業費 (千円) | | 支援金 内定額 (千円) | 重点テーマ区分 |
|----|--------------------|--------------------------|------------------------|--|-----------|--------------|--------------------|-----------|
| | | | | | | うち支援金 要望額 | | |
| 1 | その他(産業の振興及び雇用の拡大) | 信州中野おごっそフェア | 信州中野おごっそフェア実行委員会 | 中野市防災広場において、中野市を中心とした信越自然郷の農産物の魅力を発信するため出店者を募り販売する。また同日開催の小布施六斎市とシャトルバスで結び誘客効果を高める。 ①会場設営(7,000)、広報(5,000)、シャトルバス等(2,000)、コンテスト等(1,000) | 20,000 | 3,400 | 2,400 | しあわせ×2 |
| 2 | 商業の振興 | ドキドキ ハロウィン | 中野市商店会連合会 | 普段商店街を利用しない若い世代に商店街を知ってもらうためのイベント(ハロウィン仮装パレード)を行い、商店街や個店に親しみを持つきっかけづくりとする。 ①会場、イベント経費(744)、広告(180)、警備(140) | 1,250 | 900 | 630 | |
| 3 | 環境保全、景観形成 | 東山公園桜復活事業 | 東山観光協会 | 中野市内の桜の名所として市民に親しまれている東山公園だが老木化が目立ってきている。公園整備を行うメンバーも高齢化しており、中野市の観光資源を再生させる観点からも広く桜の木のオーナーを募集し補植するなど公園一帯を整備するとともに地域の活性化を図る。 ①樹木診断(272)、補植用苗50本(864)、枯れ枝撤去(864) | 2,184 | 1,000 | 648 | |
| 4 | 特色ある観光地づくり | 信州中野の歴史・自然を体感できる観光情報発信事業 | 信州なかの観光協会 | 古地図等から中野市陣屋周辺の歴史的な街並みを再現しWebサイトにアップするほか、まち歩きガイドの養成、サイクリングマップ作成を行い、新たな視点からのまち歩き観光を推進する。 ①Web改修(540)、まち歩き等マップ作成(450)、ガイド研修(150) | 1,140 | 855 | 405 | |
| 5 | 教育、文化の振興 | 第24回ふれあい体験学校in坂戸 | 信州中野ふるさと交流団 | 埼玉県坂戸市と中野市(旧・豊田村)の子ども達の交流事業を平成5年から毎年行っている。H29は坂戸市への訪問となるが、初めてキャンプを設営することにより子供たちの協調性や自主性を養うとともに、防災体験学習を行うことで両市の絆を更に深める。 ①バス等交通費(249)、キャンプ場等使用料(57)、テントほか備品購入(636) | 1,213 | 874 | 613 | 歴史継承、移住促進 |
| 6 | その他地域の元気を生み出す地域づくり | 高社山を中心とした地域の賑わい創出事業 | 高社山を世界に発信する会 | 高社山エリア(中野市・木島平村・山ノ内町)で連携して高社山及び山麓地域の景観、文化など発信し、地域の知名度を高める。 ①開山祭・登山講師(60)、広報(30)、ドローン撮影(432)、チェーンソー等購入(70) | 606 | 485 | 339 | 地域資源 |
| 7 | 教育、文化の振興 | 特別企画「信州ゆかりの現代作家」展 | 特定非営利活動法人 アートミュージアム・まど | 開館10周年を記念し、長野県ゆかりの作家展を企画し特別講演を行う。また講演会に合わせ地元高校美術部の生徒の作品を持ち寄り合評会を開催する。 ①作品借用料(150)、作品運搬費(290)、講師謝金等(96)、広告等(232) | 809 | 607 | 607 | 歴史継承、移住促進 |
| 8 | 保健、医療、福祉の充実 | 農福連携による就労継続支援A型事業 | 株式会社アルピスファーム信州なかの | 障がい者の自立支援に向け、中野市農福連携プロジェクトの趣旨に賛同した企業が就労継続支援A型事業所を立ち上げる。地域の農業従事者と連携し、遊休農地を活用し需要の高い農産物を栽培、販売する。 ①農業サポーター委託(1,916)、②事業所増築(5,756)、車両購入(5,385)、PC等(298) | 16,237 | 10,113 | 8,449 | 福祉・子育て |
| 9 | 安全・安心な地域づくり | 糸魚川市復興応援コンサート | 中野市 | 中野市と糸魚川市は「カチューシャの歌」を縁に平成元年から知音都市交流を続けているところだが、平成28年12月に発生した糸魚川市大規模火災の復興を願い、中野市消防団音楽隊が中心となりコンサートを行うとともに、合わせて楽器を整備し、消防団音楽隊の活性化を図る。 ①広告等(115)、②楽器購入(1,479) | 1,703 | 825 | 412 | |
| 10 | 地域協働の推進 | 手づくり農村支援事業 | 中野市 | 農村地域における高齢化や後継者不足による農作業等の負担軽減と効率化を図るため、地域住民が協働して行う農道・水路の補修・整備の直接施工や維持管理活動に必要な材料支給や重機の提供等の支援を行う。 ②農道舗装8地区(7,380)、水路改修10地区(3,440) | 10,820 | 5,410 | 5,410 | |
| 11 | 教育、文化の振興 | 市民第九コンサート事業 | 市民第九コンサート実行委員会 | 飯山文化交流館の開館を機に、近隣の住民を集め市民による第2回第九コンサートを開催するとともに、姉妹都市である大阪市との交流も行き、文化芸術の振興を図る。 ①オーケストラ委託費(2,200)、合唱指導者等謝金・旅費(1,212)、大阪市出演者謝金等(600)、会場使用料(500)、広告宣伝費(381)、著作権使用料(30) | 5,407 | 1,596 | 1,596 | |

| | 事業区分 | 事業名 | 事業主体 | 事業内容 (単位:千円) 主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業 | 総事業費 (千円) | | 支援金 内定額 (千円) | 重点テーマ区分 |
|----|----------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|--|-----------|--------------|--------------------|---------------|
| | | | | | | うち支援金 要望額 | | |
| 12 | 特色ある観光地 づくり | 信越自然郷エリア における日本版 DMO推進事業 | 一般社団法人信 州いいやま観光 局 | 信越9市町村の中心となりマーケティング手法などを 活用、効果的な販路拡大などを行い、飯山駅開業後の広 域観光事業を推進する。 ①JR広告掲載(4,000)、信州DC商品造成 (2,000)、信越自然郷HP更新(1,300)、旅行誌広告 掲載(2,700)、モンベル提携料等(1,800) | 12,300 | 9,840 | 5,200 | 広域観光 |
| 13 | 特色ある観光地 づくり | 信越自然郷にお けるサイクル ツーリズム促進 事業 | 一般社団法人信 州いいやま観光 局 | 信越自然郷エリアを周遊観光するため乗り捨て可能な レンタサイクルシステムを構築するとともに、ガイド人 材育成のための講習会を開催する。 ①乗り捨て施設看板等(150)、Webサイト等情報発信 (1,620)、講習会経費(350)、講師謝金(150)、② トレーラー(704) | 3,180 | 2,509 | 2,509 | 広域観光 |
| 14 | 特色ある観光地 づくり | 千曲川・高社山 SEA TO SUMMIT 事業 | 千曲川・高社山 SEA TO SUMMIT 実行委員会 | モンベルが提唱している、自然界の水の循環を体感す るプログラム～海や川(SEA)から山頂(SUNNIT)へ自 力で進み自然を考える～環境アウトドアプログラムを実 施する。 ①大会運営費(5,562)、シンポジウム会場(216)、講 師謝金(432)、広告費(486)、プロモーション映像制 作(1,144) | 9,000 | 2,000 | 2,000 | 広域観光 |
| 15 | 特色ある観光地 づくり | 第2回クラフト フェア北竜湖開 催事業 | 北竜湖観光協会 | 飯山市北竜湖を舞台に芸術文化を発信するイベントと してH28に実施したところ多くの来場者があった。H29は 新たに写真絵画コンテストも企画し北竜湖の魅力さをさら にPRする。 ①広告宣伝費(698)、会場使用料(100)、入選者懸賞 (80)、②展示ボード等(1,810) | 2,887 | 2,194 | 2,194 | 地域資源 |
| 16 | 保健、医療、福 祉の充実 | 障がい者総合支 援法に基づく就 労継続支援A型 事業 | ㈱フジすまいる ファーム飯山 | 廃校となった岡山小学校の給食室等をそのまま活用し 加工施設とし、「就労継続支援A型事業所」を立上げて 2年目となるが、引き続き遊休農地を開墾し伝統野菜の 坂井芋等を栽培、農産物の加工・販売を行うことによ り、農業の振興を図るとともに障がい者の自立を支援す る。 ①職員研修費(1,336)、トラクター等レンタル (1,063)、②農業資材等(2,444)、開墾費用(300) | 5,144 | 3,963 | 3,436 | 福祉・子育て |
| 17 | その他地域の元 気を生み出す地 域づくり | 北原区くるみに よる元気な地域 づくり事業 | 北原区ふるさと 暮らし支援委員 会 | 世帯数30余りの高齢化が進む過疎集落において、荒廃 農地を活用し地域の活性化を図るべくH20に植樹したく るみの木が収穫の時を迎えた。くるみの木オーナー制度 をコミュニティビジネスとして確立するため必要な整備 を行う。 ①収穫用資材等(376)、洗浄機(170)、乾燥棚設置 (43) | 758 | 595 | 595 | 歴史継承、移住促 進 |
| 18 | 農業の振興と農 山村づくり | 「みゆきのシャ クヤク」プロ モーション事業 | JANAの花弁 共撰部会シャク ヤク研究会 | 北信地域はシャクヤクの全国一位の生産量を誇る産地 でありながら知名度が低いため、シャクヤクの魅力や生 産者のこだわりをプロモーションビデオとして映像化し 卸売関係者や一般向けにPRする。 ①プロモーション映像制作(510)、花摘みイベント経 費(24) | 587 | 469 | 469 | 地域資源 |
| 19 | 地域協働の推進 | 協働のむらづく り事業 | 飯山市 | 住民と市が協働して農林業用施設を整備することによ り、事業費を圧縮、施設の維持管理作業を軽減し、農林 業生産の効率を高める。また、協働作業を通じて住民 同士の交流、施設管理意識の向上を図る。 事業実施予定39箇所、うち支援金対象:農林道舗装等11 箇所、水路改修15箇所 ②原材料購入費(6,950) | 6,950 | 4,060 | 4,060 | |
| 20 | 環境保全、景観 形成 | 「後世に残そう 森・水・いの ち」志賀高原森 林再生事業 | ABMORI実行委 員会 | 県と山ノ内町が中心となり、H26から志賀高原の閉鎖 スキー場の森林再生を目的とした植樹活動「いのちを守 る森づくり」を実施している。H28はこれまでの稚樹採 取、育苗、植樹、モニタリング調査に加え、サテライト 植樹として部活動遠征時に合わせ植樹を行い交流する。 ①育苗～植樹事業バス費用(2,004)、モニタリング・ バス費用(131)、サテライト・バス費用(329)、参加 者保険(39)仮設トイレ設置(179)、 ②植樹事業・整地(3,602) | 11,300 | 5,354 | 3,469 | |
| 21 | 特色ある観光地 づくり | 志賀高原ロング ライド | 志賀高原ロング ライド実行委員 会 | グリーンシーズンの誘客を図るため、標高1,000mを超 える山岳地帯に総延長115kmものサイクリングコースを 設定、H26から4回目の開催となる。 ①企画一式(1,053)、調査・準備経費(175)、広告 費・告知物制作費(1,333)、大会運営等(7,688) | 11,002 | 2,716 | 1,038 | |
| 22 | 特色ある観光地 づくり | スノーリゾート 受入観光地協議 会誘客宣伝事業 | スノーリゾート 受入観光地協議 会 | 北陸新幹線開業に合わせスキー場・観光協会・行政で 新たな協議会を立ち上げ、H28から誘客宣伝活動に取り 組んでいる。H29は関西方面からのエージェントを集め 情報交換を行う。 ①バス借り上げ(427)、エージェント交通費等 (821)、宣伝キャラバン(248) | 2,731 | 1,610 | 1,412 | 広域観光 |

| | 事業区分 | 事業名 | 事業主体 | 事業内容 (単位:千円) 主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業 | 総事業費 (千円) | | 支援金 内定額 (千円) | 重点テーマ区分 |
|-----------|--------------------|--------------------------------------|------------------------|---|-----------|--------------|--------------------|-----------|
| | | | | | | うち支援金 要望額 | | |
| 23 | 環境保全、景観形成 | 雪室スノーパル 利活用促進事業 | 山ノ内町雪室利 活用協議会 | 山ノ内町須賀川地区に設置した雪室「スノーパル」の認知度を高めるため夏季限定の雪室コンビニを実施し、地元野菜など雪室貯蔵品の付加価値を高め、地域の活性化を図る。 ①看板、広告等(460)、チェーンソー他雪室設置用備品(144)、貯蔵証明シール(151) | 800 | 604 | 604 | 地域資源 |
| 24 | その他地域の元気を生み出す地域づくり | 「見て、聞いて、味わって」地域実感型すがかわ移住体験ツアー | すがかわ暮らし 応援隊 | これまででも体験ツアーを企画し移住に結び付いたが、通年で移住希望者を受け入れるため空き家を改修し、実際の生活を体験していただきスムーズな移住・定住につなげる。 ①家賃(360)、光熱水費(163)、既存浄化槽改修費(36)、移住キャンペーン交通費(241)、②浄化槽配管工事費(809) | 2,061 | 1,608 | 1,608 | 歴史継承、移住促進 |
| 25 | 地域協働の推進 | 地域協働で農業に活力を与えるための施設整備 | 山ノ内町 | 高齢化等により農業経営の先行きが不安定な中、地域住民が協同で農道等の整備を行うことにより地域のつながりを深め、農業に活力を与え、農村全体が元気になる。 ②農道舗装4地区 原材料費(2,319)、重機借上料(618) | 2,998 | 1,499 | 1,499 | |
| 26 | 安全・安心な地域づくり | 支え合い、助け合い地域防災力向上事業 | 南鴨区防災会 | 消防団の統合に伴い地区ごとに独自の防災組織が立ち上がる中、南鴨区ではいち早く地域防災計画を策定し、実践に移す段階にある。現状の消防機材は使用できない状態のため、女性等にも取り扱い可能な軽量・小型機材の整備を行う。 ②小型ポンプ一式(529) | 529 | 396 | 396 | 防災力 |
| 27 | 特色ある観光地づくり | カヤの平高原 誘客推進と魅力発信事業 | 木島平村 | ラジオ番組の企画として森林ウォーキングツアーを開催、カヤの平高原の魅力を生かすPRする。 ①ツアー企画運営(222)、告知PR(324) | 650 | 436 | 436 | 地域資源 |
| 28 | 農業の振興と農山村づくり | 木島平酒米ブランド化プロジェクト | 木島平村産業 ネットワーク協議会 | 栽培が難しく、県内で木島平村だけが栽培している酒米・金紋錦の栽培技術を継承するため調査・分析を行いワークショップを開催するほか、パンフレットを作成しPRを図る。 ①ドローン撮影(756)、映像分析(297)、ワークショップ(150)、パンフレット作成(490) | 1,694 | 1,355 | 1,355 | 地域資源 |
| 29 | 森林づくりと林業の振興 | 都市住民と地元住民の連携による木島平村カヤの平高原におけるブナの森づくり | 特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所 | カヤの平高原牧場は牛の放牧地として栄えてきたが牧畜農家の減少により未利用部分が増加している。未利用の牧場を昔のブナ林に復元するため、都市住民と地域住民の交流により森づくりを行い、都市との交流人口を創出する。 ①バス借料等(708)、森林指導講師等謝金(236)、募集チラシ印刷費(162) | 1,162 | 871 | 871 | |
| 30 | 特色ある観光地づくり | 街中にぎわい創出事業 | 野沢温泉観光協会 | 6月に開催している「たけのこまつり」の運営主体を出店者や地元住民に移すため、必要な備品を整備する。また、本年7月から9月の信州DCキャンペーンに先立ち、これまででなかった春から夏に特化したパンフレットを作成、グリーンシーズンの誘客を図る。 ①パンフレット製作(414)、テーブル(420)、テント(115)、パイプ椅子等(76) | 660 | 528 | 602 | 地域資源 |
| 31 | 特色ある観光地づくり | 春の誘客キャンペーン事業 | 野沢温泉観光協会 | | 414 | 331 | 地域資源 | |
| 32 | 地域協働の推進 | 手づくり農道舗装等事業 | 野沢温泉村 | 農地・林地の荒廃を防ぐため、地元住民が互いに協力し必要な農道舗装等を行い、農作業の効率化と生産意欲の向上を図る。 ②原材料費支給 農林道4か所(2,435)、水路1か所(949)、集会所駐車場1か所(1,117) | 4,502 | 3,001 | 3,001 | |
| 33 | 地域協働の推進 | 農地等国土保全事業 | 栄村 | 農業従事者の高齢化が進む中、農業用施設の維持管理作業の軽減を図るため、集落等の要望により改修が必要な農道及び排水路等について、村が原材料等を支給する。 ②原材料支給:農道舗装等4箇所、水路等改修11箇所(2,549) | 2,999 | 1,699 | 1,699 | |
| 北信地域振興局 計 | | | | 33事業 | 145,685 | 73,703 | 59,962 | |